

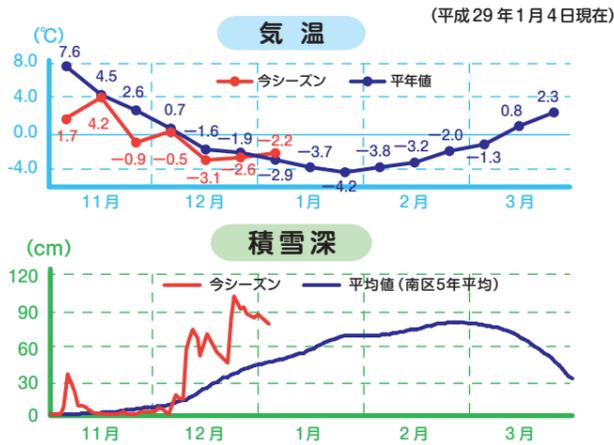
南区の冬の気象状況

シーズン序盤の異例の大雪

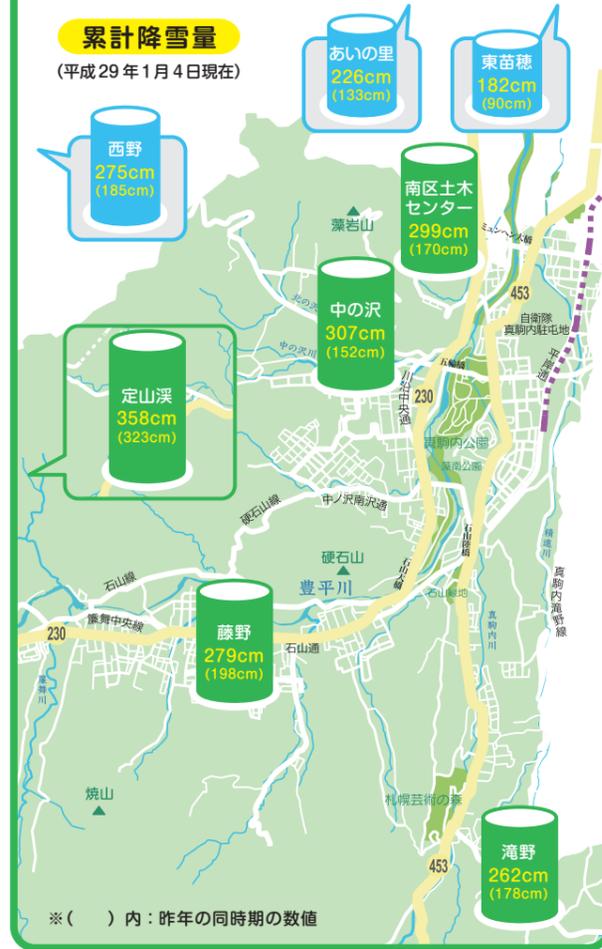
今シーズンは、11/5～6に44cm、12/10～12には78cm、また12/22～23には64cmと、シーズン序盤に異例の大雪が何度も降りました。また気温が非常に低く推移したこともあってか、大雪直後の積雪深は一時102cmにも達し、平年値のピーク(2月末ごろ:81cm)を大きく上回りました。

札幌市全域では現在、清田・南・西区の降雪量が多い状況ですが、その中でも南区が最も多く降っています。

南区土木センターでの観測値



南区各地点の観測値



冬みち便り

vol.2

保存版

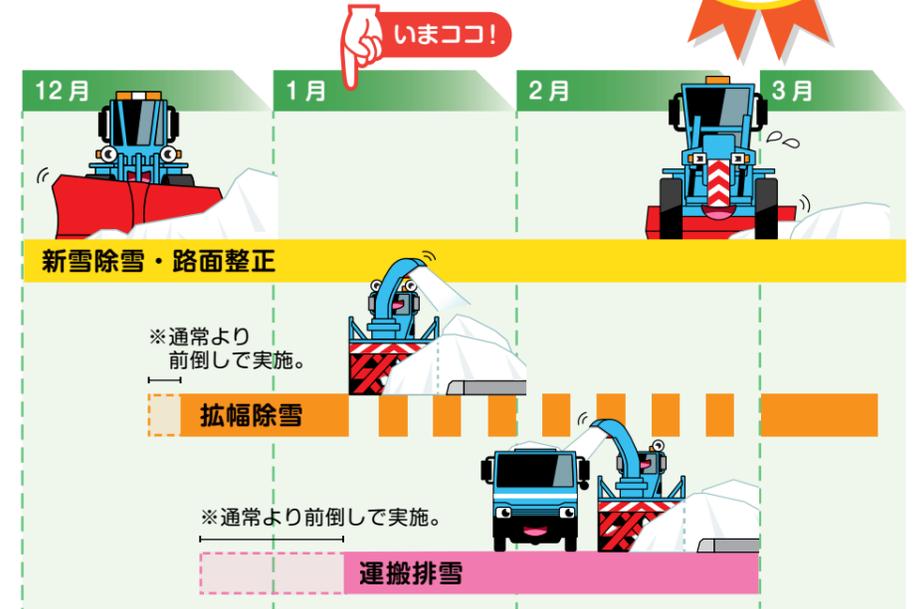
このリーフレットでは、南区のみなさまに4回にわたり、市の除排雪の仕組みや南区の状況等をお伝えしていきます。

札幌市南区土木部
平成29年1月12日発行

主な除雪スケジュール

昨年のたび重なる大雪により、通常1月の中旬から行う排雪を、早いところでは1ヶ月ほど前倒しして緊急排雪を行っています。同時に雪堆雪場も可能な限り前倒しして開設し、排雪の受入れに備えました。また、生活道路に関しては交差点排雪を強化し、対応していく予定です。

今後は、来週1/18の小学校の始業式に備え、通学路を重点対応していきます。



Beyond your ambitions
世界につながる、冬にする。

2017 冬季アジア札幌大会
SAPPORO ASIAN WINTER GAMES

2017 SAPPORO ASIAN WINTER GAMES
2017年2月19日(日)~26日(日)

札幌・帯広で開催 Sapporo and Obihiro

2017 冬季アジア札幌大会まで
あと **38** 日!

南区の北海道立真駒内公園屋内競技場では、期間中、フィギュアスケートやショートトラックの競技が行われ、最終日には閉会式も開かれます!

大会公式 HP : <https://sapporo2017.org/>

冬季アジア札幌大会 🔍 検索

除雪ボランティアが活躍!

市内でも少子高齢化が最も進む南区ですが、地域ではさまざまな若い力が活躍しています。

除雪ボランティア

東海大学(札幌キャンパス)

周辺の町内会から、自力での除雪が困難な世帯を募り、授業の合間や放課後を利用して除雪を実施しています。



澄川中学校

地域に少しでも役立ちたいという志を持った生徒たちが澄川地区連合会と協同で地域の「福祉除雪」の担い手として活躍しています。

北海道文教大学明清高校

男子サッカー部が藤野第一町内会のお年寄りのお宅の除雪ボランティアを行っています。

消火栓除雪

川沿少年消防クラブ

消火栓に寄せられた硬い雪を、スコップできれいに取り除きます。



砂まきボランティア

真駒内中学校 真駒内曙中学校

真駒内駅や区役所周辺、また通学途中のバス停など、ツルツル路面に砂をまいています。



除雪ボランティアへの支援を行っています!

市民が地域で行う除雪ボランティア活動への支援として、活動に使用する除雪用具の無償支援を行っています。(用具はスコップ、スノーダンプ、そり等) また、砂まきや砂入りボトルの作成活動に対しては砂や資材の提供を行っています。
[問い合わせ] 南区土木センター (電話: 011-581-3811)



発行	札幌市南区土木部維持管理課	
お問合せ	区の除雪事業について	▶ 札幌市南区土木部維持管理課 (南区土木センター) 電話: 011-581-3811
	区の除雪作業について	▶ 北地区除雪センター 電話: 011-583-6851 ▶ 南区除雪センター 電話: 011-573-9222
今後のリーフレット発行予定	▶ 第3号 1/26(木)	このリーフレットのバックナンバーを札幌市南区ホームページに掲載しています。
	▶ 第4号 2/16(木)	
		 <small>さっぽろ市 02-Q02-16-1917 28-2-1119</small>

ひと冬の除雪作業の流れ(幹線道路)

1

【シーズンを通して、まとまった降雪のたび】 新雪除雪(車道) + 歩道除雪



- ▶かき分け除雪で道路の雪を路肩に寄せます。
- ▶出動回数が重なるたび、雪山の大きさ(横幅)が大きくなっていきます。

歩道の有効幅員(2m以上)

2

拡幅除雪【12月中旬～1月中旬】



- ▶大きくなった雪山で狭められた道路の幅を広げていきます。拡幅除雪ではできるだけ歩道の縁石近くまで削り取ります。

3

運搬排雪【1月中旬～2月】



- ▶拡幅除雪で積み上げた雪山が大きくなり、これ以上積み上げられなくなると、排雪を行います。
- ▶排雪は年に1度、必要最低限の量を運びます。

4

拡幅除雪【2月下旬～】



- ▶まとまった降雪と新雪除雪の繰り返しで、再び道幅が狭くなると、拡幅除雪を行います。

歩道除雪とは

歩道除雪については、歩道の幅や作業にかかる時間の関係から、すべての歩道を実施することはできません。下記のような基準により実施します。

歩道除雪の対象基準

- ・歩道の有効幅員(電柱などの支障物を除いた道幅)が2m以上あり、さらに除雪した雪を積んでおくだけの余裕幅がある歩道。
- ・地下鉄駅や公共施設周辺など、歩行者が多い歩道。

出動基準

- ・新雪除雪と同じく10cm以上の降雪があり、歩行者の通行に影響がある時。
- ・風雪や地吹雪などによる吹き溜まりの可能性がある時。
- ※歩行者の安全面などから夜間に作業を行います。

拡幅除雪とは

道路脇の雪山の裾をロータリー除雪車で削りとって、雪山の上に積み上げる除雪のことです。シーズンなかき分け除雪(新雪除雪)を繰り返すことで、道路脇の雪山がだんだん横に大きくなり道幅を狭めてしまうため、拡幅除雪により道路の幅を広げます。

出動基準

- ・道路幅が狭くなり、交通の確保が難しくなる場合。
- ・次回の新雪除雪に支障がある場合。

凍結路面对策

凍結路面とは

日中に気温が上がり、夜にまた氷点下まで下がると、融け出した雪や氷の表面が凍り、スケートリンクのようにツルツルになってしまうことがあります。冬を通じてみると、12月に最も多く発生する傾向があります。

道路に応じた凍結路面对策

幹線道路 — 717km (散布計画延長)

幹線道路には凍結防止剤を散布します。特にロードヒーティング停止区間等では、1日最大4回の重点散布を行います。

生活道路(坂道) — 343km (散布計画延長)

交通量が多く、勾配が急な坂道を中心に滑り止め材を散布します。

歩道 — 307km (散布計画延長)

公共施設や JR・地下鉄駅周辺など、人通りの多い歩道や横断歩道などに滑り止め材を散布します。

凍結防止剤

凍結防止剤は、塩化ナトリウムなどに金属の腐食を抑えるさび止めを混ぜたもので、約6時間凍結防止効果を発揮します。



滑り止め材(7号砕石)

通称「砂」と言われることもありますが、実際は細かな砕石でできています。



3kg入り砂袋

主に車道用の砂箱に配置され、比較的広い面積に散布することができます。



1.5kg入り砂袋

歩行者用の砂箱に配置され、散布しやすいよう切り口が工夫されています。



0.7kg入り携帯用ボトル

区役所などの公共施設に配置され、ペットボトルをリサイクルした市民や職員の手作りです。

砂まきのご協力をお願いします!

人通りの多い交差点や公共施設付近には砂の入った砂箱を設置しています。(歩行者用砂箱:1162個) 路面がツルツルで危ないときには、皆さんも砂まきのご協力をお願いします。砂がなくなっている場合は、土木センターまでご連絡ください。

携帯用砂入りボトルをつくってみませんか?

南区では年間に約8000本もの砂入りボトルが消費されます。そのうち約4700本が、実は地域のボランティアによって作られています!

- ・北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校 (4050本)
- ・定山溪地区交通安全母の会 (450本)
- ・澄川南小学校 (200本)

歩車共有路線



歩道や、歩道を含めた道路全体の幅が狭く、歩道と車道の間を雪を積むことができない場合には、車道の雪ごと歩道側に積み上げて対応しなければならないことがあります。

冬期間は歩行者と車が譲り合いながら道路を利用するよう、ご理解とご協力をお願いします!



札幌市ではツルツル路面で転倒し救急搬送される人が年間800人にもものぼり、その半数以上が高齢者なのです…。

